

## 熊取町におけるこれまでの取組紹介

## 1. 住民アンケート調査

本町の地域公共交通に対する住民の声を把握するために、2021（令和3）年7～8月にかけて地域公共交通に関するアンケート調査を実施しました。

実施時期	2021（令和3）年7月20日（火）～ 2021（令和3）年8月31日（火）
回収状況	636部 （うち各区・自治会432部、公共交通利用者204部） ※1,500部配布、回収率42.4%

## (1) 目的地別の移動手段

地域公共交通に関して注目すると、熊取駅へ行くのに路線バス、熊取町役場及びスーパーに行くのにひまわりバスを活用されている方が10%を越えているなど、目的地によって活用する移動手段が異なることがわかります。

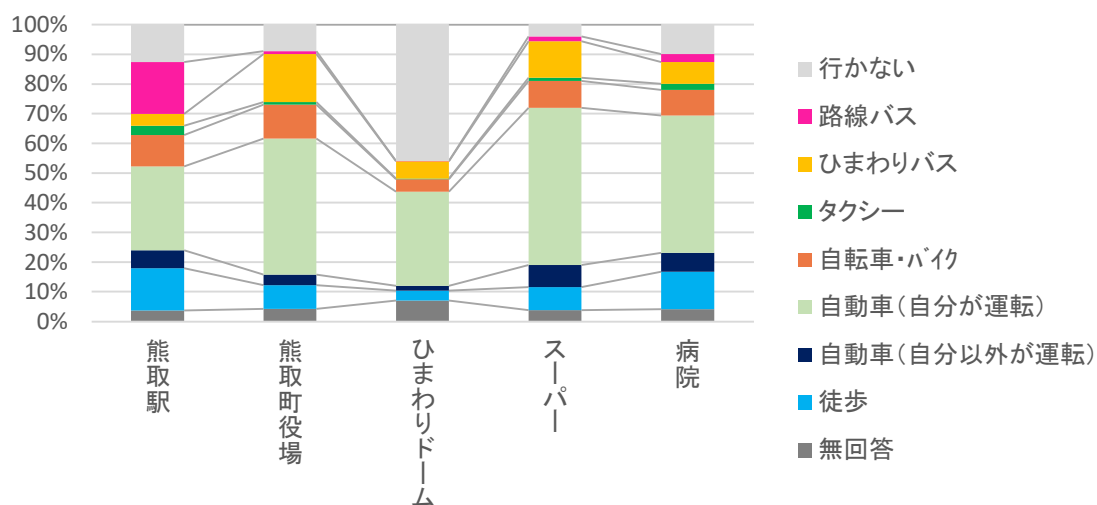


図1 目的地別の移動手段

## (2) 地域公共交通の利用時間帯

ひまわりバスは12:00～15:00の時間帯で最も利用されていることがわかります。通勤通学時に利用される早朝～9:00、17:00～21:00では路線バスや鉄道が特に利用されていることがわかります。また、通勤の帰りの時間帯になる15:00～19:00や公共交通機関が運行していない21:00以降の深夜の時間帯でタクシーの利用が多くなっています。

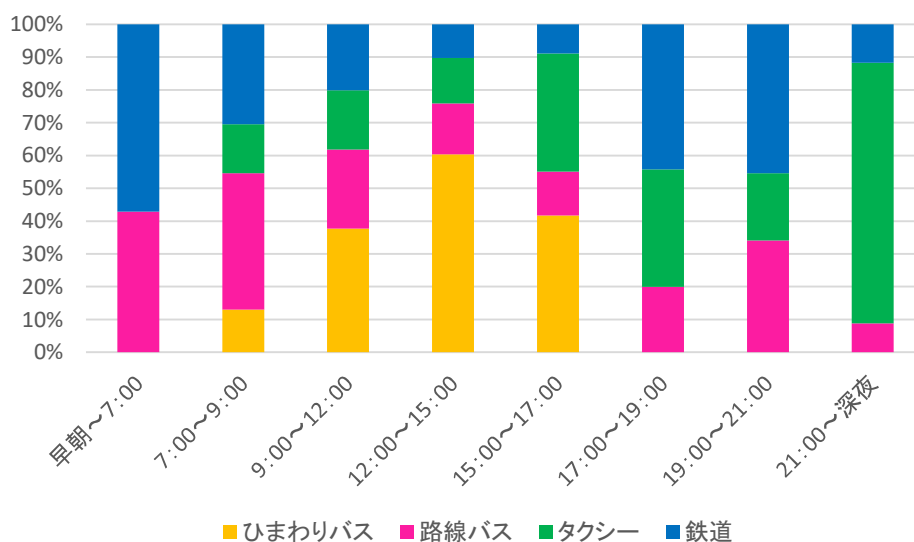


図2 時間帯別の地域公共交通利用状況

## (3) 地域公共交通の利用頻度

路線バスの利用頻度についてお聞きしたところ、回答者のうち、約41%が「それ以下（月1回未満）」で最も多く、月に1回以上の利用は約22%に留まっています。

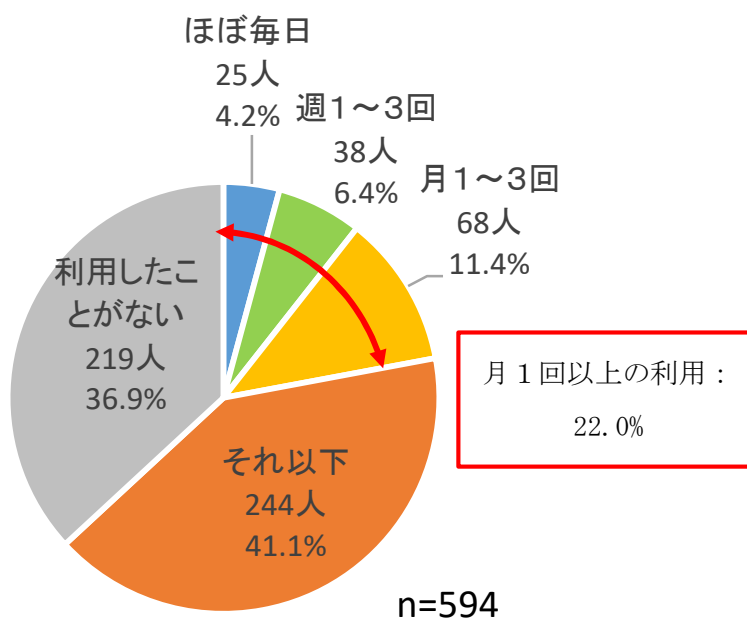


図3-1 路線バスの利用頻度

ひまわりバスの利用頻度についてお聞きしたところ、回答者のうち、約 57%が「利用したことがない」で最も多く、月に 1 回以上の利用は約 26.0%に留まっています。

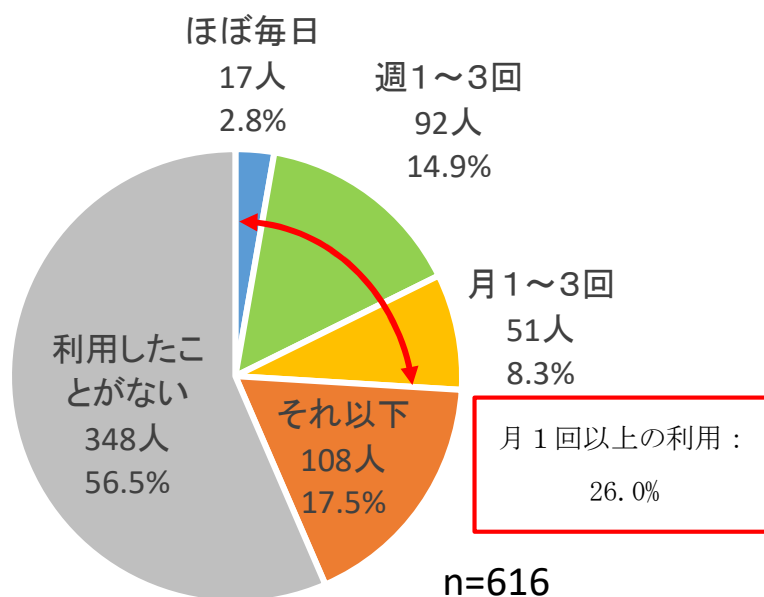


図 3 - 2 ひまわりバスの利用頻度

タクシーの利用頻度についてお聞きしたところ、回答者のうち、約 56%が「それ以下（月 1 回未満）」で最も多く、月に 1 回以上の利用は約 9.5%と、10%にも満たない状態となっています。

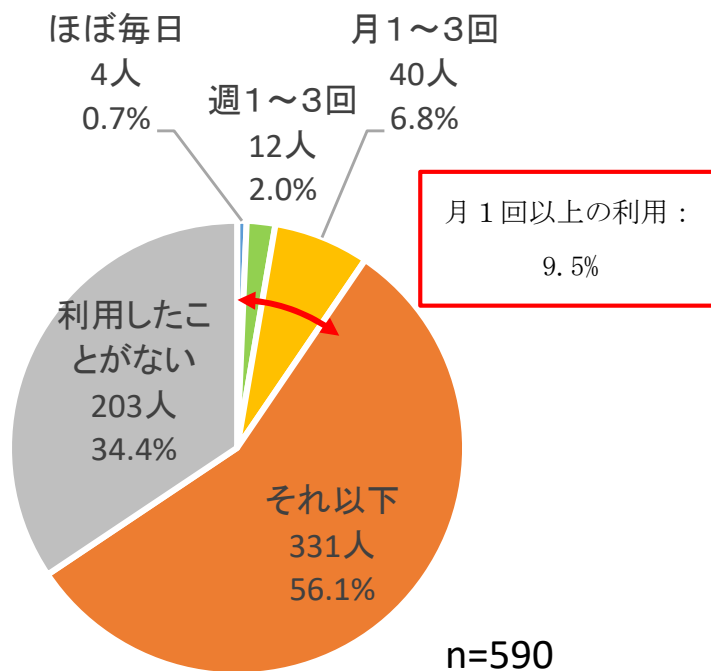


図 3 - 3 タクシーの利用頻度

#### (4) 地域公共交通における満足度

路線バスにおける満足度についてお聞きしたところ、回答者のうち、約 43%が「利用していない」となっており、路線バスを1週間に1回以上利用している方に限定して満足度を集計したところ、約 46%が「不満」「やや不満」と回答しており、「やや満足している」「満足している」と回答している方よりも多くなっています。

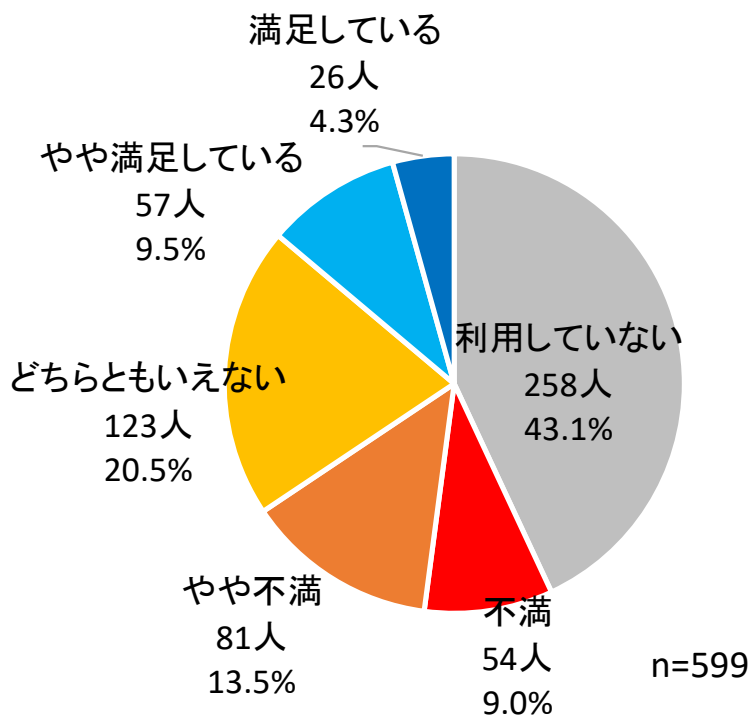


図 4 - 1 路線バスにおける満足度（全回答者）

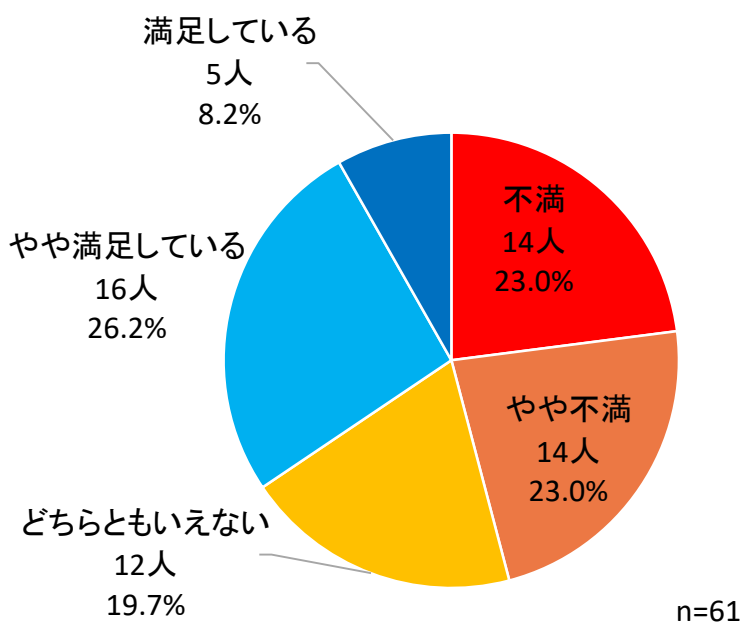


図 4 - 2 路線バスにおける満足度（路線バスを週に1回以上利用している人）

ひまわりバスにおける満足度についてお聞きしたところ、回答者のうち、半数以上が「利用していない」となっています。

一方、ひまわりバスを1週間に1回以上利用している方に限定して満足度を集計したところ、約74%が「やや満足している」「満足している」と回答しており、利用者からの評価は良いことがわかります。

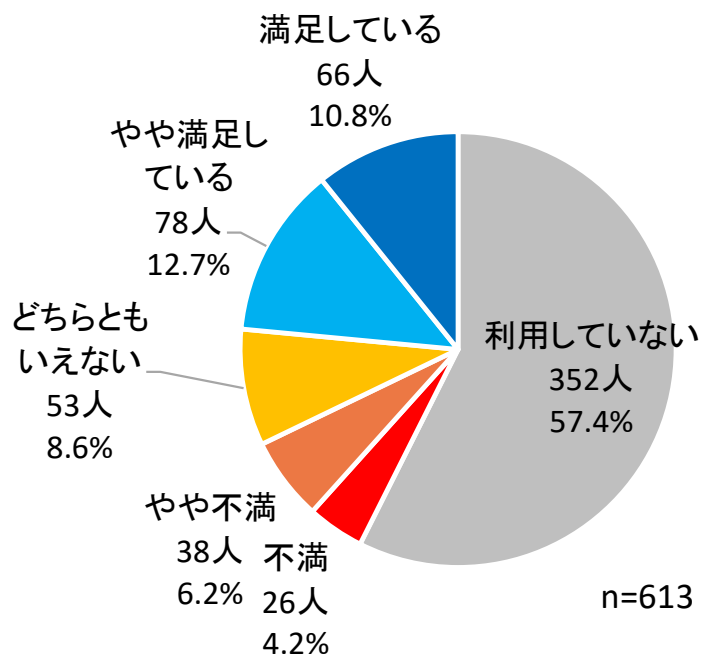


図4-3 ひまわりバスにおける満足度（全回答者）

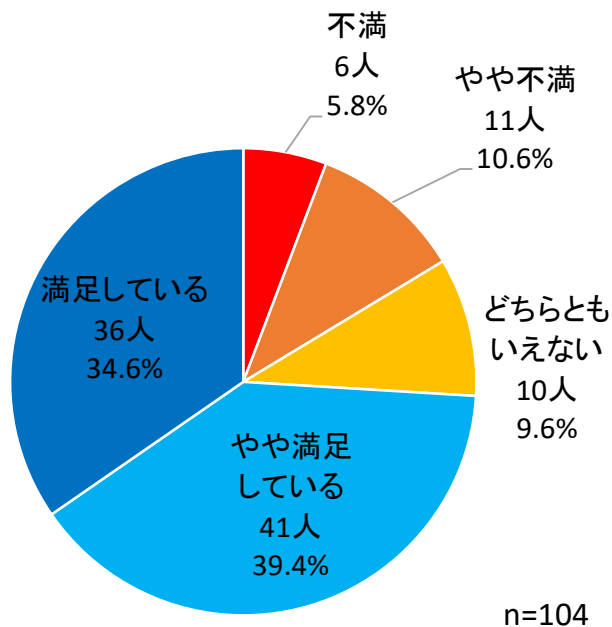


図4-4 ひまわりバスにおける満足度（ひまわりバスを週に1回以上利用している人）

タクシーにおける満足度についてお聞きしたところ、回答者のうち、約47%が「利用していない」となっています。

一方、タクシーを1週間に1回以上利用している方に限定して満足度を集計したところ、約50%が「やや満足している」「満足している」と回答しており、利用者からの評価は良いことがわかります。

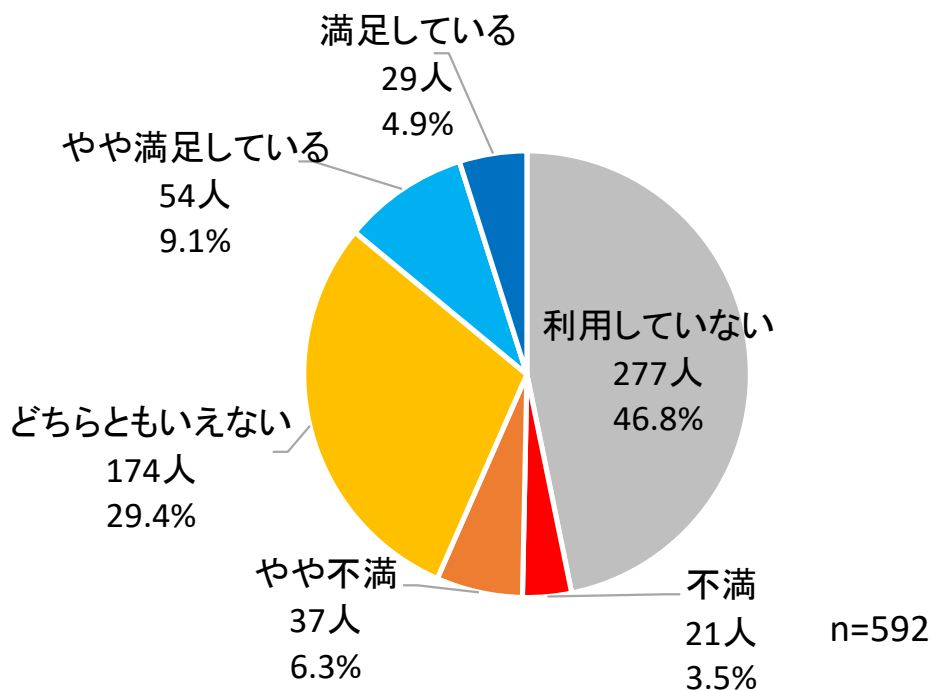


図4-5 タクシーにおける満足度（全回答者）

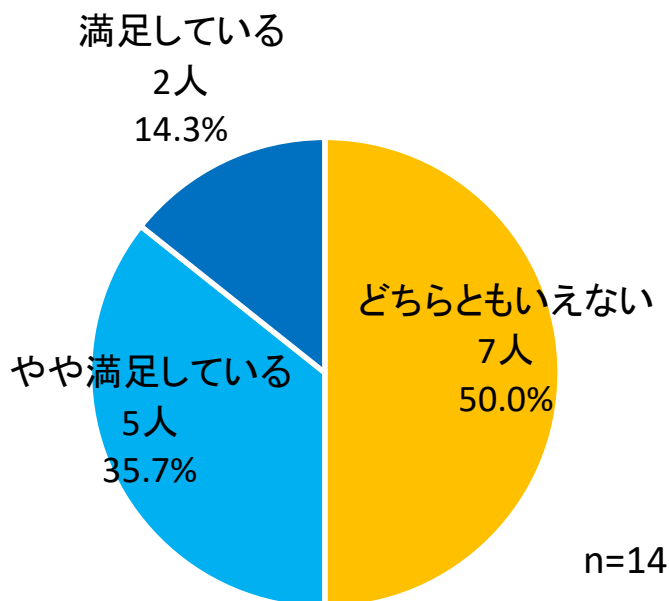


図4-6 タクシーにおける満足度（タクシーを週に1回以上利用している人）

### (5) 地域公共交通に対する不満な点

路線バスを1週間に1回以上利用している方に路線バスに対する不満な点について回答していただいたところ、「運行本数が少なく不便」という回答が最も多くなっています。その他に「遅延することがある」「運行ルートが目的地を通らない」などが多くなっています。

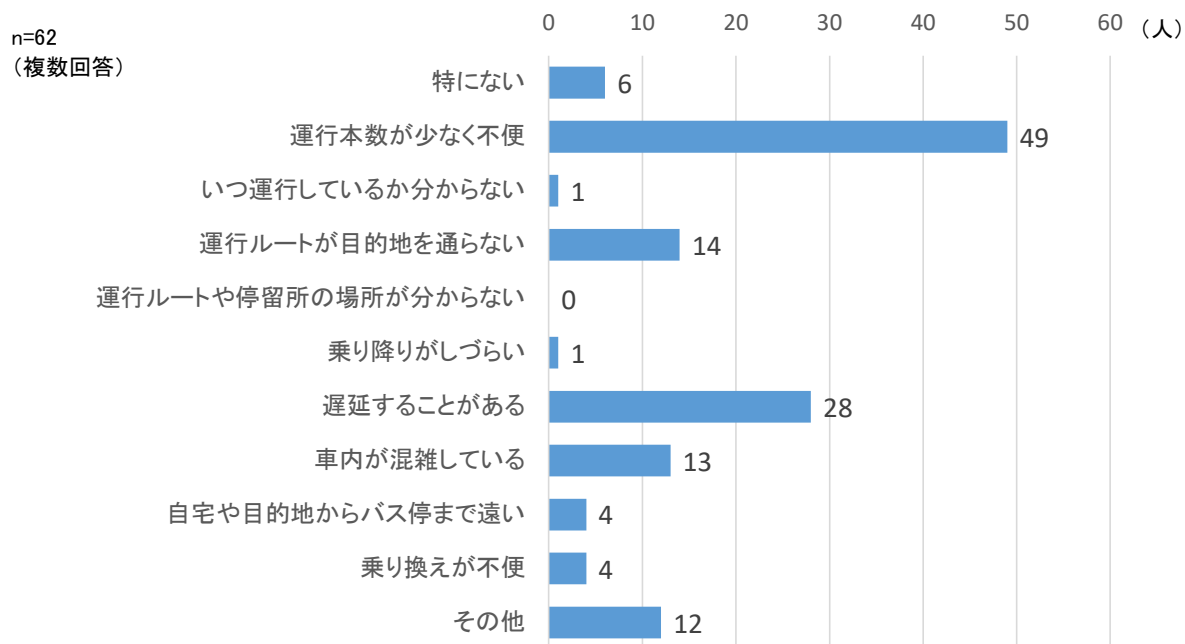


図5-1 路線バスに対する不満な点（路線バスを週に1回以上利用している人の回答）

ひまわりバスを1週間に1回以上利用している方にひまわりバスに対する不満な点について回答いただいたところ、「運行本数が少なくて不便」という回答が最も多くなっています。その他に「特にない」を除くと、「運行ルートが目的地を通らない」「乗り換えが不便」などが多くなっています。

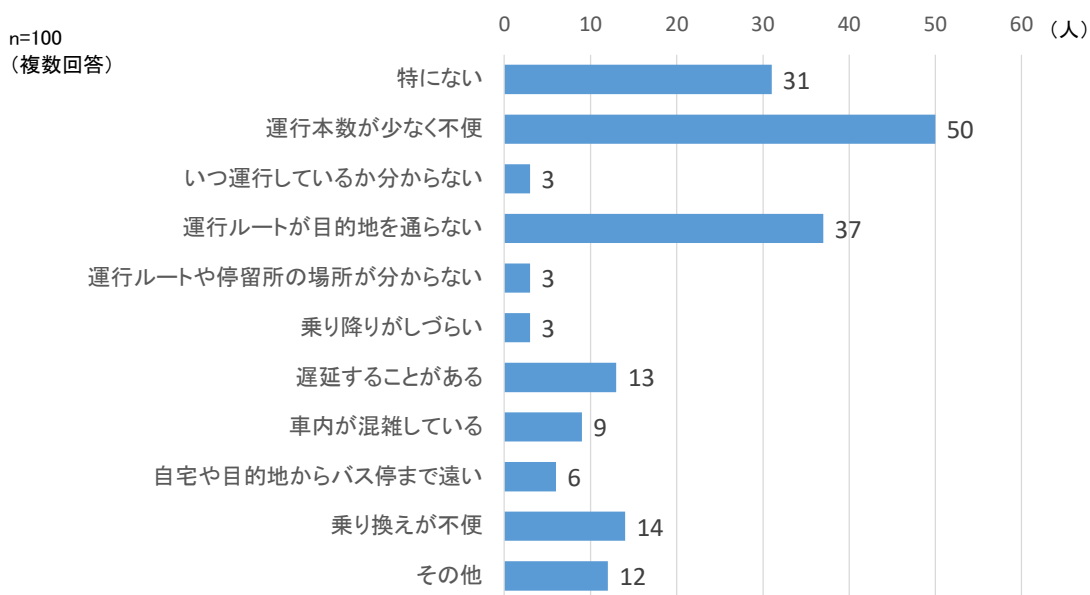


図5-2 ひまわりバスに対する不満な点（ひまわりバスを週に1回以上利用している人の回答）

## (6) 地域公共交通に求めるもの

路線バスを1週間に1回以上利用している方に地域公共交通に求めるものについて回答していただいたところ、「現在位置や遅延情報などの運行情報」を求める方が最も多くなっており、逐次情報を入手できる環境整備が求められています。その他に「近隣市のコミュニティバスとの連携による広域交通」「鉄道や他のバス路線等への乗換に関する情報」などが多くなっています。

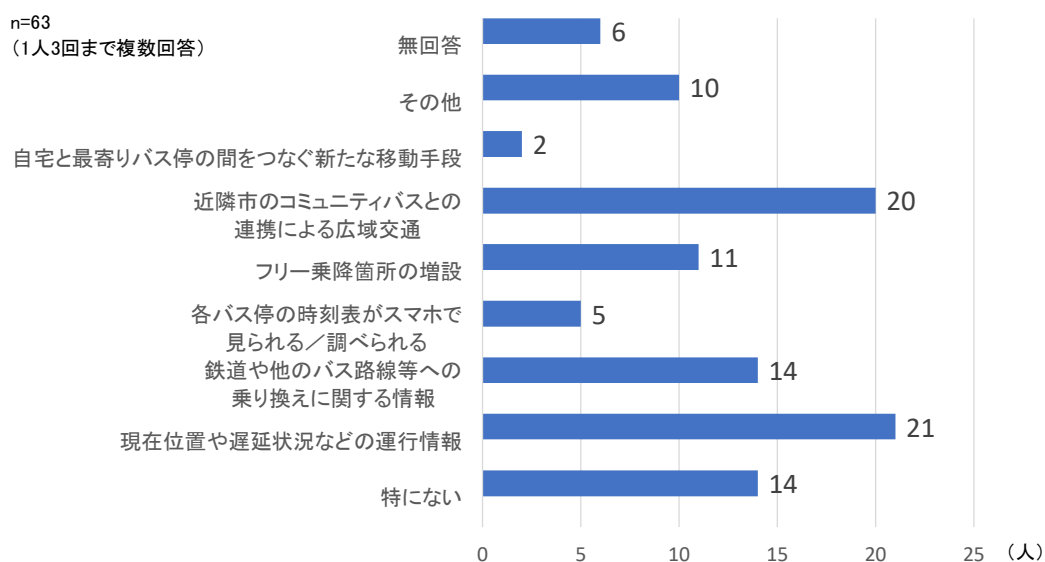


図6-1 地域公共交通に求めるもの（路線バスを週に1回以上利用している人の回答）

ひまわりバスを1週間に1回以上利用している方に地域公共交通に求めるものについて回答していただいたところ、「現在位置や遅延情報などの運行情報」を求める方が最も多くなっており、逐次情報を入手できる環境整備が求められています。その他に「フリー乗降箇所の増設」「近隣市のコミュニティバスとの連携による広域交通」などが多くなっています。

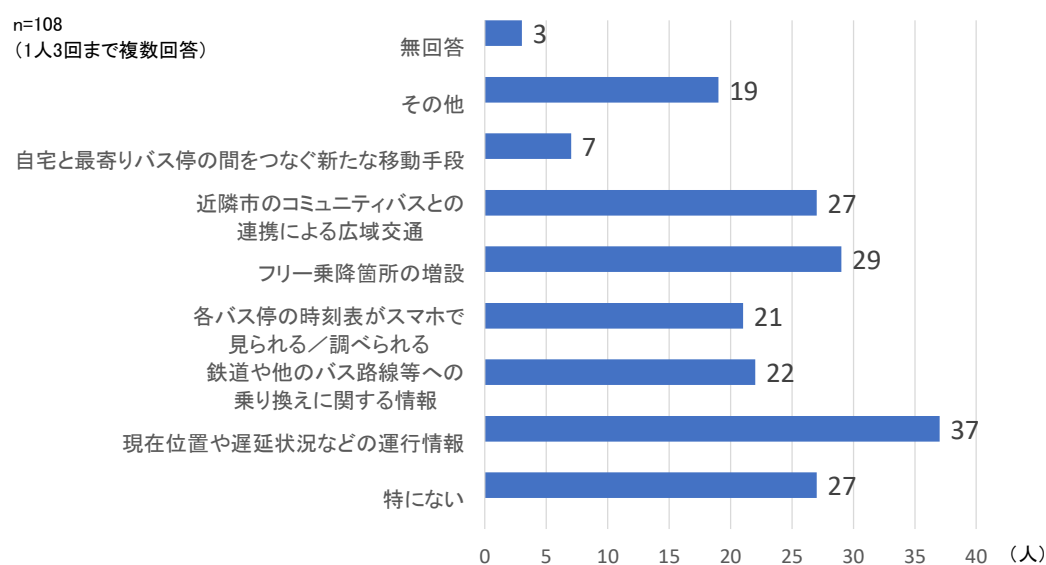


図6-2 地域公共交通に求めるもの（ひまわりバスを週に1回以上利用している人の回答）



路線バス及びひまわりバスを1週間に1回も使用していない方に地域公共交通に求めるものについて回答していただいたところ、「特にない」を除くと、「各バス停の時刻表がスマホで見られる/調べられる」ことを求める方が最も多くなっています。

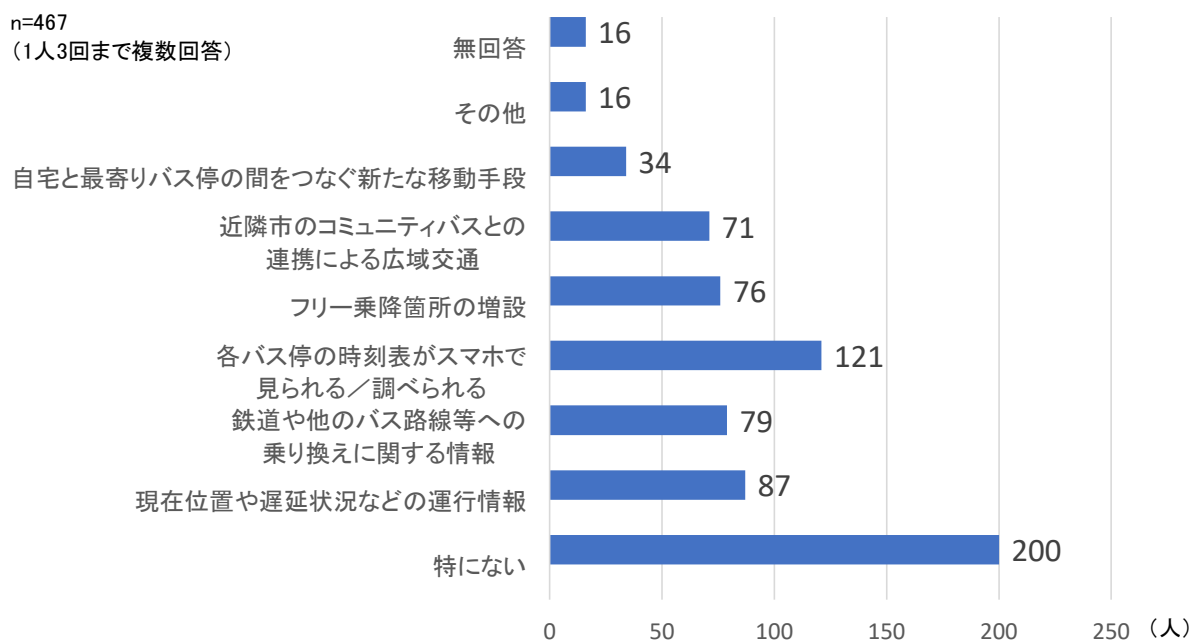


図6-3 地域公共交通に求めるもの（路線バス及びひまわりバスを週に1回も利用していない人の回答）

タクシーに求めるものについて回答していただいたところ、「特にない」を除くと、「行政からのタクシーチケット配布」を求める方が最も多くなっています。その他に「福祉タクシーの拡充」などがあります。

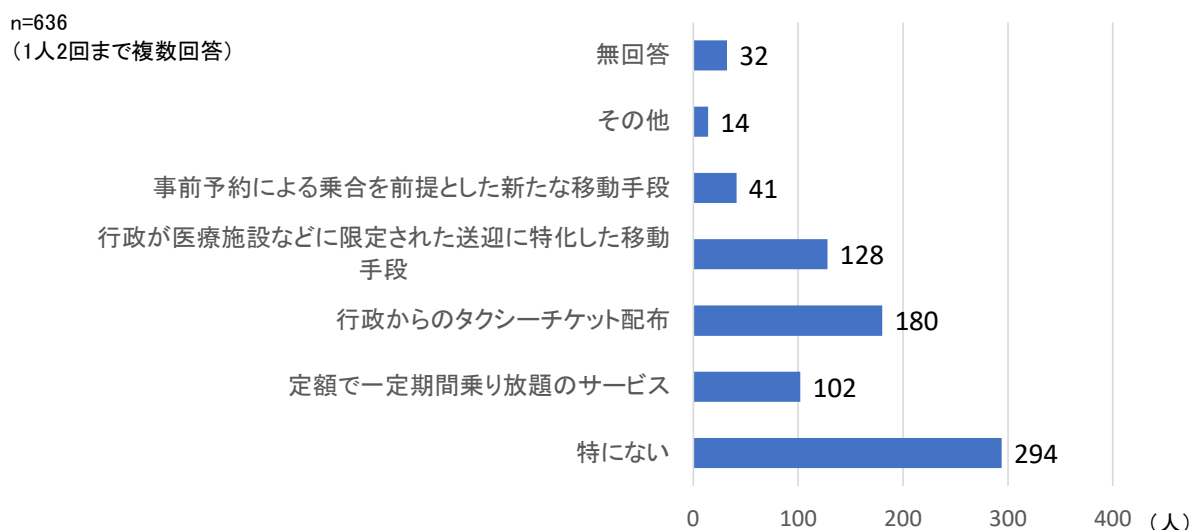


図6-4 タクシーに求めるもの

### (7) ひまわりバスの逆回り運行

ひまわりバスは現在、片方向での運行のみとなっており、逆回りでの運行について回答いただいたところ、全回答者のうち約72%が「わからない・その他（無回答含む）」となっている一方で約22%の方が逆回り運行を「要望する」としています。ひまわりバスを週に1回以上利用している方に限定すると逆回り運行を「要望する」としている方の割合は増え、約43%となっています。

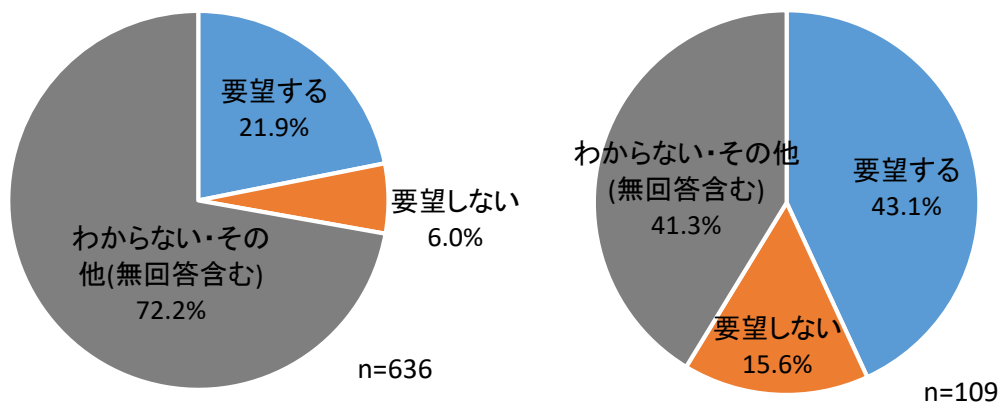


図7 ひまわりバスの熊取駅の逆回り運行の実現について  
(左：全回答者、右：ひまわりバスを週に1回以上利用している人の回答)

ひまわりバスの逆回り運行を「要望する、要望しない」理由

要望する (一部抜粋)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あると利用しやすい</li> <li>・時間がかかりすぎる</li> <li>・1本逃すと1時間近く待たなければならない</li> <li>・行って帰るのではなく、遠くまで連れて行かれて、乗っていて不要な道を通らされている感が強い、いやになる</li> <li>・一方通行ばかりより乗車人数も増える</li> <li>・目的地までの往復がしたい</li> </ul>
要望しない (一部抜粋)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻表や運行が複雑になる</li> <li>・便利だが費用がかかりすぎる／公費負担が増す</li> <li>・利便性が上がることは理解するが、その分運行者側のコストが増え、悪化し、バスの運行自体中止になってほしくない</li> <li>・町内はそんなに広くないので循環しているなら問題ない、要望が全町民の過半数を超えるような数があるなら考えればよい</li> <li>・デメリットが大きすぎる</li> <li>・現行の運行に満足している</li> </ul>

## (8) ひまわりバスの熊取駅の乗り入れ

ひまわりバスは現在、熊取駅を通るルートが存在せず、熊取駅への乗り入れについて回答いただいたところ、全回答者のうち約48%が「要望する」となっています。ひまわりバスを週に1回以上利用している方に限定すると熊取駅への乗り入れを「要望する」としている方の割合は半数を越えています。

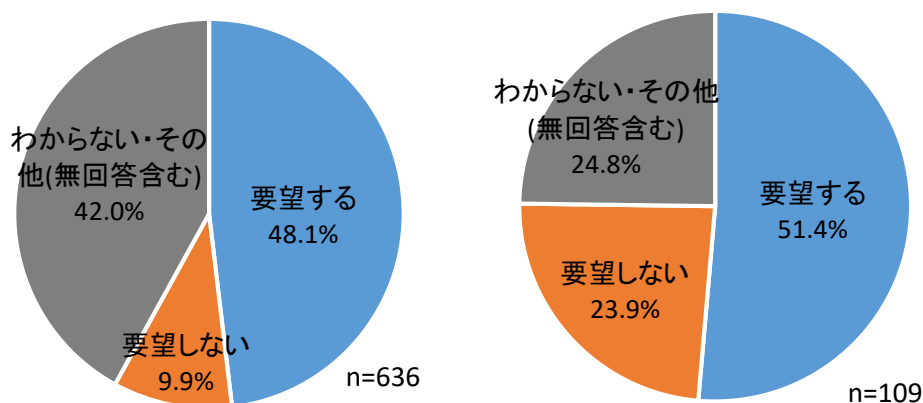


図8 ひまわりバスの熊取駅への乗り入れについて  
(左：全回答者、右：ひまわりバスを週に1回以上利用している人の回答)

ひまわりバスの熊取駅乗り入れを「要望する、要望しない」理由

要望する (一部抜粋)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・JRを利用するため／駅を利用する人が多いから</li> <li>・乗り入れは当然でしょ！／何故乗り入れしていないのか理解できない</li> <li>・駅に乗入れてこそそのコミュニティバス</li> <li>・料金が安くなる／低価格で駅まで行ける</li> <li>・青年会場前から歩くのは5分でも大変</li> <li>・朝、夜の通勤・通学での利用に便利</li> </ul>
要望しない (一部抜粋)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の路線バスに頼るべき／すみわけを重視すべき</li> <li>・路線バスが減便されると困る</li> <li>・路線バスの衰退、ひまわりバスの経費増につながるのであれば断固反対</li> <li>・青年会場前までで充分、歩いてもそんなに時間はかからないので別に良い</li> <li>・デメリットの方が大きい／デメリットを考えると今のままでよい</li> <li>・今以上の税金をかけることは絶対にしないでください。納税者の立場にたってください</li> </ul>

総体的に、ひまわりバスの逆回り、駅乗り入れ運行に対しては、いずれもひまわりバス単体の利用における住民、個人の利便性向上を望む声と対極的に公共交通全体の役割分担及び公費削減等の経済効率化を求める意見となった。

## (9) 町民の様々な意見

住民アンケート調査の中では、以下のとおり町民の様々な意見がみられました。

項目	意見（一部抜粋）
路線バス	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自分の行きたいところに自分の足で行くことができる公共の交通手段を今まで通り減らすことなく大事にしてほしい</li><li>● 出勤時間帯（6～8時）の本数が少なく使いづらい</li><li>● 朝夕の時間帯に集中して運行してほしい</li><li>● 土日の夜おそい時間の路線バスがあると助かる</li><li>● JR 日根野、南海泉佐野駅へのバスを増やしてほしい</li><li>● JR との連絡が悪い</li><li>● 止まる所の地名を書いたものを各地区に配布してほしい</li></ul>
ひまわりバス	<ul style="list-style-type: none"><li>● 買い物で大変助かっている。時間、のりつぎを考えて頭の体操をしている</li><li>● 無くなるのはとても困る。今まで通りの時刻で、料金が少し上がってもひまわりバスがあってほしい</li><li>● 「年間パス」を販売してはどうか</li><li>● 座席数を増やしてほしい</li><li>● もう少し小さくすれば、狭い道での対向車とのすれ違いが楽になり、台数も増やせるのではないか</li><li>● 青葉台まわりのルートで芦谷～長池までの間距離が長いので、その間に一つバス停が欲しい</li><li>● バス停まで階段、坂道がありきつい</li><li>● 地区からひまわりバス停が離れており不便</li><li>● 第1、7、8便などは乗客がいない</li></ul>
タクシー	<ul style="list-style-type: none"><li>● 高齢者向け施策（高齢の方が便利で利用しやすいようにしてほしい／料金減免）</li><li>● コロナ後であれば乗合交通OK</li><li>● 行先の料金が不明なので乗りづらい</li><li>● 予約しても時間がかかるときがある</li><li>● クレジットカードが使えないタクシーがある</li><li>● 当日までの予約ができるようになってほしい</li></ul>

## 2 公共交通ワークショップ

本町の地域公共交通の利用者や住民の”生”の声を収集し、様々な立場の方同士の考えや課題の相互理解を深めるため、2022（令和4）年11月に3回にわたってワークショップを開催しました。

表 公共交通ワークショップ実施概要

	実施日時	ワーク 参加人数	テーマ
第1回	11月1日（火） 19:00～20:45	12人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通を取り巻く現状</li> <li>・熊取町の現状</li> <li>・路線バス・タクシーの現状</li> <li>・意見交換</li> </ul>
第2回	11月18日（金） 19:00～20:45	12人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回ワークショップの振り返り</li> <li>・普段の移動について、良いこと・悪いこと</li> </ul>
第3回	11月29日（火） 19:00～20:45	12人※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より外出しやすくするために （公共交通を活用、利用して外出してもらうための取組み提案）</li> </ul>

※うち4人については公共交通事業者や行政公共交通担当者が提案者として参加。



写真 ワークショップ当日の様子

### (1) 第1回ワークショップで得られた意見

第1回ワークショップでは、地域公共交通や本町の現状の説明を行い、それを踏まえたうえで参加者の普段の移動などについて各々発言していただきました。

町民は基本的に自家用車で移動されている方が多く、町内に立地している大学に通う大学生や高齢者等が路線バス等の地域公共交通を利用している傾向にあります。また、全体的に**路線バスやひまわりバス等の地域公共交通を利用したことが無い、よく知らない、不便だ**という意見が多くみられました。

表 第1回ワークショップの意見概要

視点	意見（一部抜粋）
参加者の意見	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ バスやタクシーが移動手段として選ばれない（自家用車が便利）</li><li>✓ バスの現行サービスに対する不満（便数が少ない、ダイヤが合わない 等）</li><li>✓ ひまわりバスのルート・停留所の位置がニーズに合わない（駅、買い物施設 等）</li><li>✓ 路線バスの利用環境の悪さ（バス停の屋根がない、バス定期券の購入場所がない 等）</li></ul>
交通事業者の意見	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ バス・タクシー利用者が減少している</li><li>✓ バス・タクシー運転手の確保が困難となっている</li><li>✓ 燃料の高騰</li></ul>

### (2) 第2回ワークショップで得られた意見

第2回ワークショップでは、普段の移動時に感じる困りごとや、本町の地域公共交通における良い点と悪い点について2つのチームに分かれて話し合いました。

このワークショップでは、バスの運行時間帯や待合環境の改善を求める意見、ひまわりバスを実際に**利用してみると意外に便利だったことを踏まえたうえで、地域公共交通の使い方や多様な公共交通機関の使い分けを各々が学ぶべきことが重要だ**という意見などがみられました。

表 第2回ワークショップの意見概要

意見（一部抜粋）
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓バスの最終運行時間が早い</li> <li>✓バス停が狭く、屋根が欲しい</li> <li>✓利用してみないと意見が言えないので、試しにひまわりバスを利用してみると、思った以上に利用しやすく感じた。</li> <li>✓ひまわりバスで役場を経由して他のコース（他地域や商業施設など）に行けることを初めて知った。個人個人で目的に応じて使い方をもっと考えると良いと思う。</li> <li>✓仮にひまわりバスが熊取駅へ乗り入れすると、利用者は増えるかもしれないが、買い物や通院などで今利用している人が、現在でも座れない状況もある中、困る可能性がある。</li> <li>✓駅に乗り入れないまでも、「青年会場前」停留所から駅側にもう少し近い停留所があればより良いと思う。</li> <li>✓バスの時刻表をあらかじめ理解しておけば、移動のイメージをすることができ、活用しやすくなると思う。</li> <li>✓利用している人からは、目的に応じた使い分けをしていると聞いた。</li> </ul>

### (3) 第3回ワークショップで得られた意見

第3回ワークショップでは、地域公共交通を利用してもらうための工夫について、事前に考えてきていただいた取組案からチームを作り、チームごとに意見を出し合いました。

町内での撮影会や撮影した写真の展示会、学校や町内会の取組での活用、地域公共交通機関を活用した四季折々のツアーの実施などの意見が出され、**地域公共交通の良さを活かし、移動手段の選択肢として選んでもらうための取組みが必要**であり、実践することが大切といったまとめとなりました。



### 3 予約制乗合タクシー実証実験

本町において今後、新たな地域公共交通の導入の可能性や、地域公共交通の改善の方向性を検討するため、MONET Technologies 株式会社 に業務委託のうえ、予約制乗合タクシーの実証実験を行いました。

<b>運行期間</b>	2022年9月15(木)～2022年11月14日(月) ※ 10月2日(日)、8日(土)、9日(日)は運休
<b>運行時間</b>	毎日9:00-17:00
<b>運行会社</b>	大阪第一交通(株)
<b>運行車両</b>	ジャパンタクシー
<b>運行地域</b>	自由が丘、若葉、五月ヶ丘、緑ヶ丘、小谷、高田地区 ※乗降場所の限定はあるが、町外・他地区居住者も利用可能
<b>乗車場所</b>	各地区内2～3箇所、計17箇所
<b>利用料金</b>	1回大人200円、小学生以下100円
<b>利用方法</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 利用1週間前～1時間前までに電話かインターネットで予約</li> <li>② 予約日時・乗降場所にタクシー到着</li> <li>③ 乗合運行</li> <li>④ 降車の際に現金で料金支払い</li> </ol>

## 買い物・通院・お出かけに便利な予約制乗合タクシー

熊取町AIオンデマンド交通実証実験 (実施期間：令和4年9月15日～11月14日)

自由が丘・若葉・五月ヶ丘・緑ヶ丘・小谷・高田地区で実証実験実施！

※乗降場所は限定されますが、町外の方、他地区の方もご利用いただけます。

詳細はコチラ  
町ホームページ



万代、松原、熊取駅、永山病院 など

電話またはネットでカンタン予約！

【電話(9-17時)】  
☎080  
-3210  
-1171  
大阪第一交通機専用  
オペレーターにつながります

【ネット(24h)】  
メールアドレスと任意のパスワードを入力  
↓  
名前、電話番号、アクセスコード[273619]を入力



例) 9/30 10時に「小谷南」から「熊取駅」まで2人お預りします

1週間前～1時間前まで予約ができるよ！続けて帰りの予約もできるから便利！

予約した日時・乗降場所にタクシーが迎えにくるよ！

予約した〇〇です

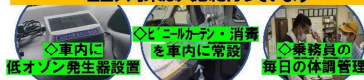
この標識が目印↑

到着！降りる時に利用料を支払ってね

○利用料金  
大人200円 / 小学生以下100円  
※1歳未満の小児無料  
※障がい者手帳等提示で無料

○運行時間  
9-17時 土日祝日も毎日運行！  
※10/2,8,9(試験免、祭礼日)は運休

コロナ対策は入念に行っています



※乗車の際は、マスクの着用・消毒にご協力をお願いします。  
※発熱などの症状がある方は、利用をご遠慮下さい。

片道15～30分程度で運行

目的地施設 → 各地区内

※目的地施設間(青～青)、地区内・地区間(赤～赤)での利用はできません。

<お問い合わせ先>  
①予約・運行について ☎080-3210-1171  
大阪第一交通(株)(全日:9～17時)  
②実証事業について ☎072-452-6396  
熊取町道路公園課(平日:9～17時)



## (1) 利用者の年齢層

回答いただいた利用者のうち、約6割が70代以上となっており、20～30代の利用は1割程度に留まっています。

また、利用者の平均年齢をみると女性、夫婦のみ世帯、車非保有者で比較的高くなっています。

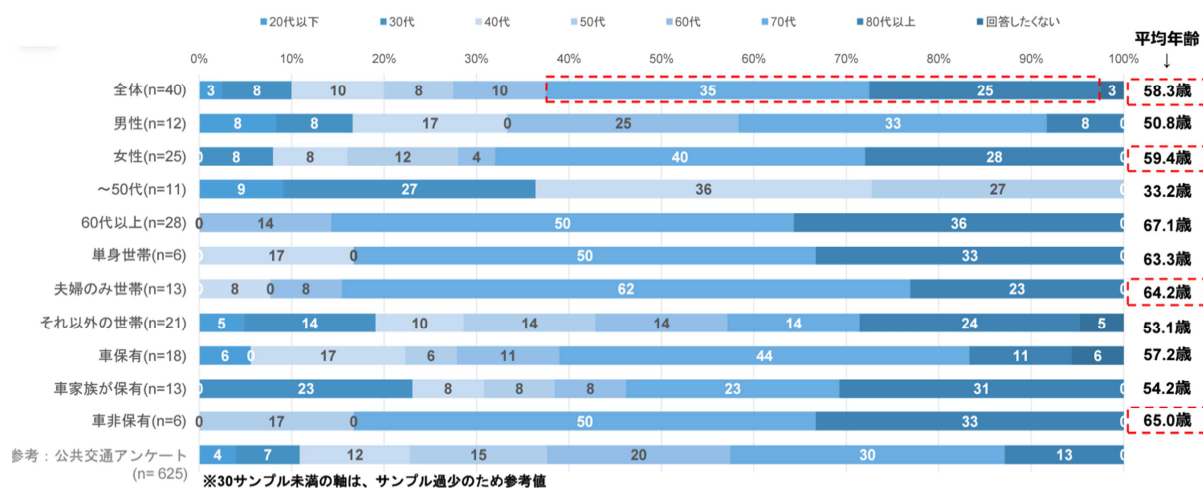


図1 予約制乗合タクシー利用者の年齢層

## (2) 運行時の平均乗車人数

実証期間中の乗車人数は205人となったのに対し、1回の運行時における月当たり平均乗車人数は1.15～1.27と、乗合になったケースはほとんどみられませんでした。

表 乗車人数

実施期間	利用回数	乗車人数	平均乗車人数
全体	166	205	1.23
9月	30	38	1.27
10月	89	113	1.27
11月	47	54	1.15

※キャンセルしたにもかかわらず利用された方がいるため予約数(165)とずれています

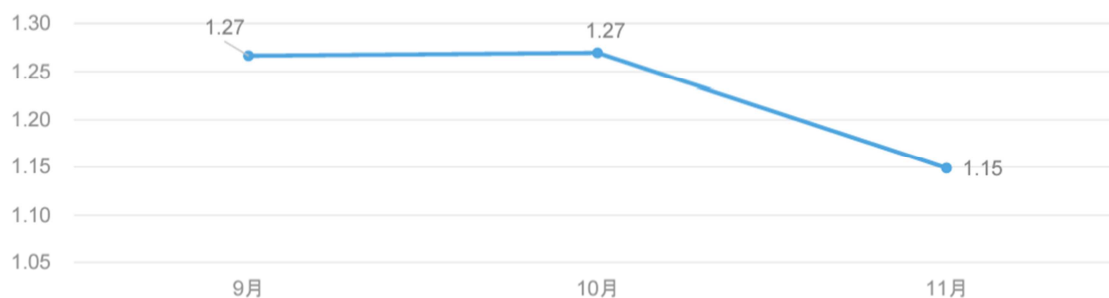


図2 月当たりの平均乗車人数

### (3) 利用者あたりの利用頻度

利用者ごとの乗車回数を見ると、6名のヘビーユーザーによる利用のみで全体の運行回数の約半数を占めています。

1人の乗車回数	実質人数	総乗車回数	%
26回	1	26	16%
16回	1	16	10%
15回	1	15	9%
10回	2	20	12%
6回	1	6	4%
5回	3	15	9%
4回	2	8	5%
3回	6	18	11%
2回	10	20	12%
1回	22	22	13%
合計	49	166	100%

全体の50%

※キャンセルしたにもかかわらず利用された方がいるため予約数(165)とずれています

図3 利用者ごとの利用頻度と利用割合

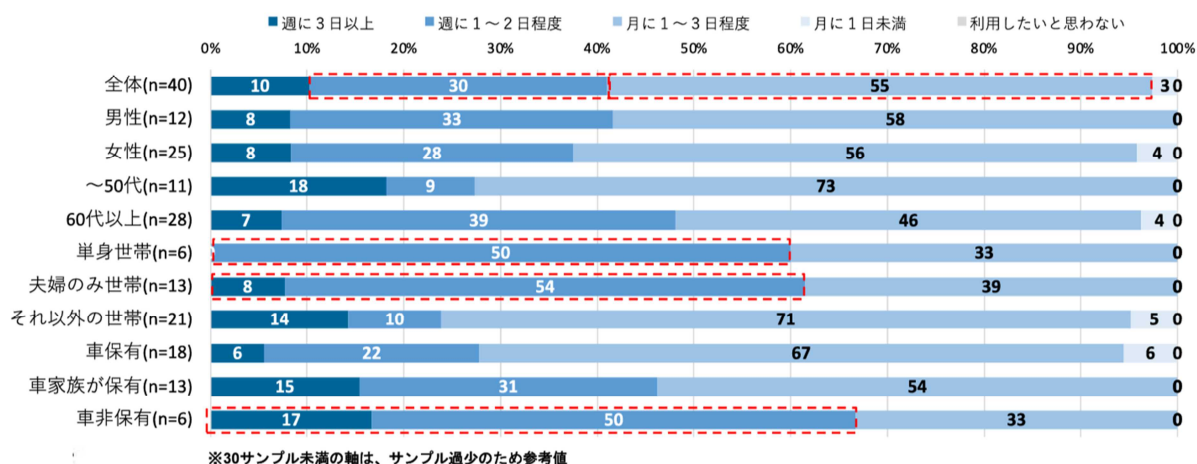
### (4) 利用者アンケート

予約制乗合タクシーの利用者に対して、予約制乗合タクシーの利用状況や満足度、今後の利用ニーズ等を探ることで、新たな交通手段の導入の方向性や今後の公共交通の改善の方向性の検討をするため、利用者アンケート調査を行いました。

アンケートの回収部数は、64部であり、そのうち有効回答部数は40部でした。

#### ①今後の利用意向

1乗車あたりの運賃が希望額になった際の利用意向について、「月に1～3日程度」が約6割を占めており、次いで「週に1～2日以上」が約3割となっています。



※30サンプル未満の軸は、サンプル過少のため参考値

図4-1 利用者ごとの利用頻度と利用割合

## ②予約制乗合タクシーに対する満足・不満足

予約制乗合タクシーに対する総合満足度をみると、「満足」が70%にものぼり、「やや満足」を合わせると90%が満足と回答しており、公共交通アンケートにおけるその他の交通手段と比べても、満足度が高い結果となりました。

また、満足な要素をみると、約半数の方が「車の乗り心地」をあげており、次いで、「公共交通施設への行きやすさ」や「JRへの乗り継ぎやすさ」、「予約のしやすさ」など、全体的に町内の主要な施設へのアプローチのしやすさなどの利便性の要素が評価されていることが視えま

した。反対に、不満足な要素をみると、全体的には各項目の割合は少ない中で、「運行開始時刻／終了時刻」に対しては、全体の30%の方が不満の要素としてあげており、次いで、「運行ルート」や「乗降場所の便利さや数の多さ」が続いています。

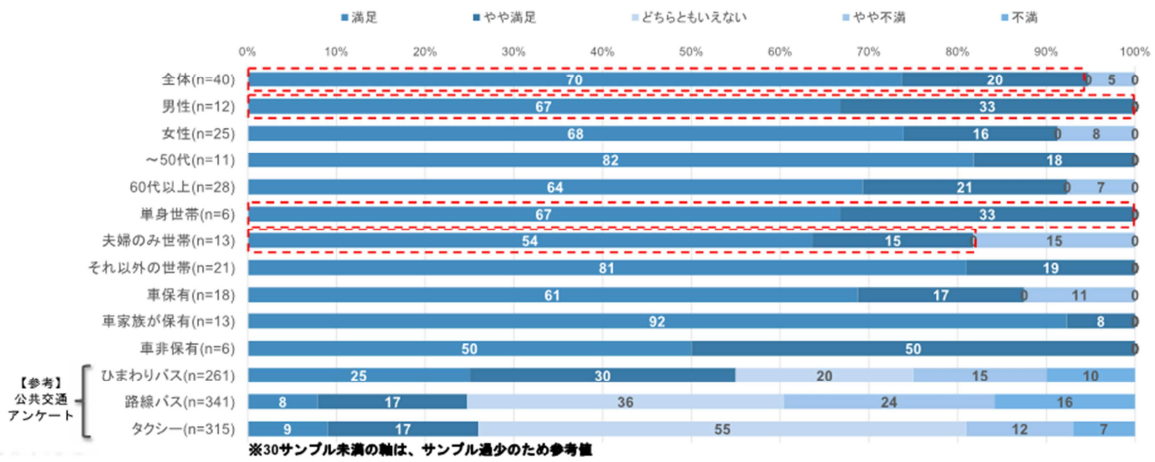


図4-2 総合満足度

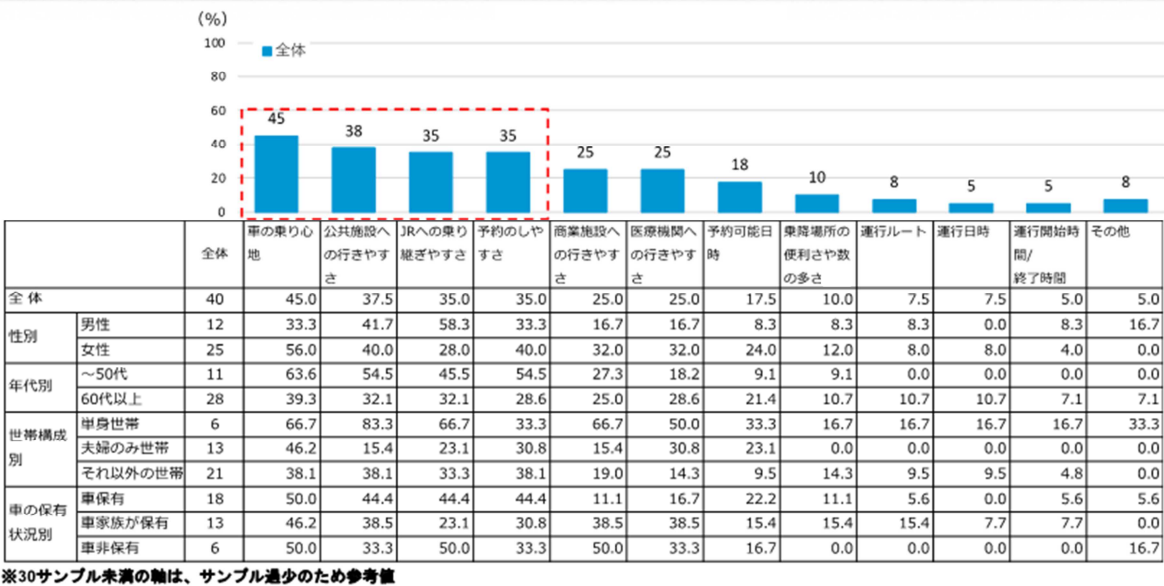


図4-3 満足な要素

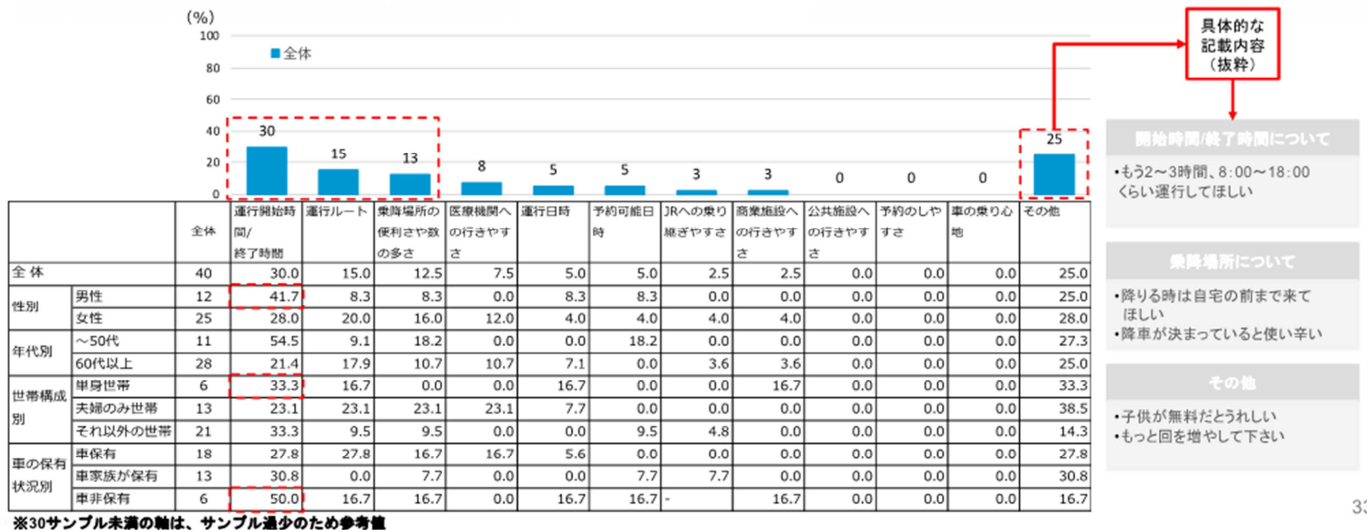


図4-4 不満足な要素

(5) 課題と方向性

- 日常で気軽に利用できるひまわりバスとタクシーとの中間的な役割や機能が求められる
- JR熊取駅への乗り入れ実現に向けては、既存路線バスと予約制乗合タクシーとの双方の利益向上を目指す必要がある
- 利便性や事前予約制への評価が高く、満足度も高いことから現状の方向性で利用ニーズがあると想定される
- 運行開始時間・終了時間については不満も出ており、改善の検討が必要



本調査結果から導かれる予約制乗合タクシーが担うべき機能と、既存の路線バス、ひまわりバスが担ってきた役割等を再度整理しながら、適切な機能分担の実現を含めた、将来的な町内の公共交通のあり方に関する更なる検討・整理が必要